

特集!

市民活動交流会2015  
ふじみ野10才!  
未来をひらく

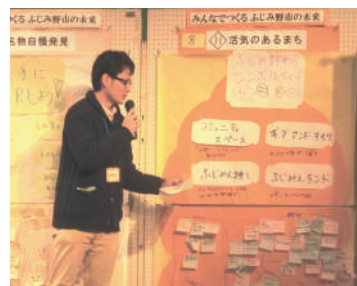
報告

日時/1月31日(土)  
10:00~16:30場所/上福岡西公民館ホール  
コーディネーター/森良氏  
(NPO法人エコ・コミュニケーションセンター代表)

参加者数 118人

## 交流会の趣旨

交流会は、市民活動支援センターに登録した団体(個人)が企画段階から積極的に参加し、実施され、このことにより団体の自主性・自立性が育まれ、この交流会によって人の輪が広がり、新たなまちづくり提案の実現に向かうための第一歩になることを目的とする。



市民活動交流会2015「ふじみ野10才!未来をひらく」では小学校4年生、中学校2年生を対象に実施した「将来の夢」や「10年後のふじみ野市」のアンケートをもとに、ふじみ野市のまちづくりを考えました。

午後のグループワークでは8つのテーマに分かれ、交流会初めての試みとしてリーダーは市職員が担当しました。

これからのふじみ野市を担う若い職員達のリードで、話し合いはにぎやかに進みました。みなさまご協力ありがとうございました。

## 交流会のねらい コーディネーター 森良氏

ふじみ野市が10才になり、ふじみ野市の基になっているそれぞれの地域の力、持ち味を生かして発揮していく事が求められています。今日の交流会は子どもたちが望んでいることに対して、大人は何ができるのかを検討していきます。

今日は課題を出すだけではなく、更にその出てきた課題の中から、どれが一番大事か絞ってもらい、具体的な提案を作るのを目標に話し合いをしていただきます。

『まちづくりは人づくり』と言われますが、大人と子どもが関わり合いながら、次のまちの担い手を育てていくことができればいいのではないのでしょうか。

わたしたちはいろいろな地域の過去、歴史から学ぶことを大切にしたいと思います。未来をつくるためには過去から学ぶことをしなければなりません。



変えることで、自分達が住み続けられる地域、持続可能な暮らしにしていく必要があります。

『助け合い』、『エネルギー』、『食糧』これが持続可能な地域をつくる上でとても重要です。過去から学んで現在を見直し、そして未来をつくっていく。

「ふじみ野の新たな人づくりをみんなでやっていくには」をみんなで考え広げていく機会にするよう進めていきたいと思えます。